

＜主な視察先と視察テーマ＞

ポートランド = “世界で一番住みたい街”にてサステナブルでコンパクトなまちなみを視察 =

1. 官民連携による公共交通整備を伴う都市型再開発や歴史的住宅地を体感
2. 鉄道沿線型郊外住宅地開発“オレンコ・ステーション”にて歩いて暮らせる街を実感する
3. カフェやマイクロ・ブルワリーなどでポートランドの文化を体感



中心部の都市型住宅(ポートランド)



オレンコ・ステーション(ポートランド郊外)



高級住宅地ノブ・ヒル(ポートランド)

シアトルとその周辺 = 郊外型複合開発とニュー・アーバニストによる街づくり =

1. イサクア・ハイランドおよびノースウェスト・ランディングにてニュー・アーバニズムの巨匠ピーター・カルソープによる郊外型複合住宅地開発を視察
2. サウス・レイク・ユニオン地区等にて都市型住宅事情を視察
3. 高級住宅地クィーン・アンにて愛され続ける住宅地を調査



イサクア・ハイランド(シアトル郊外)



ノースウェスト・ランディング(シアトル郊外)



シアトル・ダウンタウン遠景

バンクーバー = “世界一暮らしやすい街”の歴史的高級住宅地と高層都市型住宅 =

1. 郊外に広がる“ショーネシー”、“キツラノ”などで歴史的住宅地を視察
2. “イエールタウン”や“ウォーター・フロント地区”の歩行者環境に配慮した高層都市型住宅を視察



ショーネシー



ウォーター・フロントの集合住宅

<同行コーディネーター>

佐々木宏幸氏

明治大学理工学部建築学科 准教授 / 合同会社FTS Urban Design社 代表

博士(芸術工学) 一級建築士 米国公認都市計画家(AICP)

横浜市出身 東京大学工学部建築学科卒業

カリフォルニア大学バークレー校大学院都市地域計画学科修士課程修了

(株)フジタ勤務を経て、ピーター・カルソープ事務所へ駐在し、数々のニュー・アーバニズム思想によるプロジェクト

に携わったのち、在サン・フランシスコのアーバン・デザイン会社 Freedman Tung and Bottomley(2007年に

Freedman Tung + Sasaki に社名変更)入社

2005年7月より同社の共同代表を務める

2008年8月、FTS Urban Design 日本事務所設立、主宰

2010年度より本財団主催海外視察団においてコーディネーターを担当し、その深い造詣と行動力で

団員はじめ関係者の高い評価を得る

アメリカにおいて「住民参加型まちづくり」「ダウンタウン活性化」などを専門に手がけたのち、

現在は「戦略的アーバン・デザインによる都市の再構築」を中心に活動中

<行程略図>

